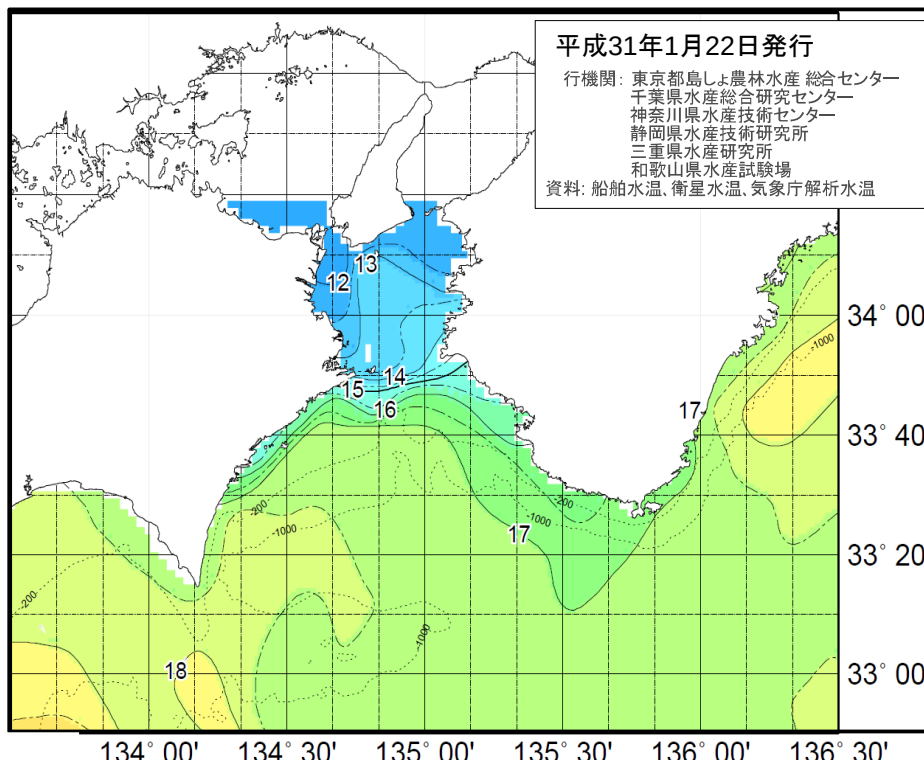


## 海況

### 1. 周辺海域の水温(1月16日～1月22日)

黒潮は、室戸岬沖では先週に引き続き「離岸」で推移した。潮岬沖では「離岸」から17日に南下して「著しく離岸」となった。

22日の徳島沿岸の水温は、播磨灘で11℃台、紀伊水道で12～14℃台、海部沿岸で14～17℃台であった。海部沖合では黒潮北縁からの暖水波及が見られ、水温フロントが形成されている。黒潮の表面水温は20～22℃台であった。



※黒潮の離接岸の表現 (いずれも正南方向)  
室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸45～65NM 著しく離岸：65NM～  
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：25～56NM 離岸56～86NM 著しく離岸：86NM～

※水温フロント：水温の異なる水塊の境界部。水平方向に急激に温度が変わる。

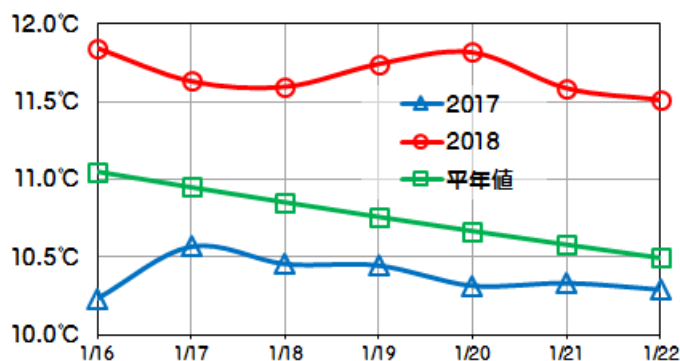
海況図は、平日夕方に水産研究課HPの「地先水温情報」のページに、前日分と当日分を掲載しています。

### 2. 地先水温(1月16日～1月22日)

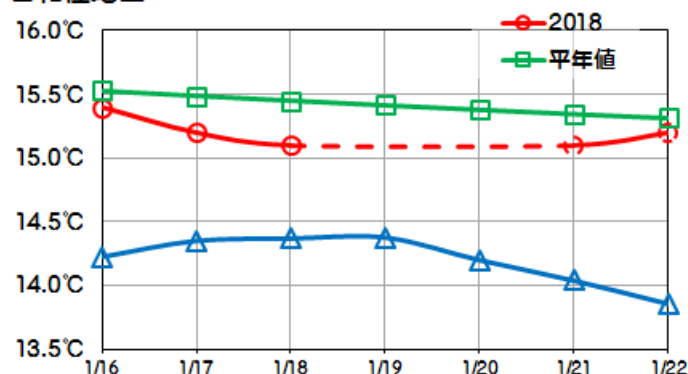
鳴門地区の地先水温は、「やや高め」の11.9～11.5℃で推移した。

日和佐地区の地先水温は、「平年並み」の15.4～15.1℃で推移した。

#### 鳴門地区



#### 日和佐地区



※水温の高低 平年並：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満  
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1982年～2016年の平滑平均値

### 3. 週間予報(1月23日～1月29日)

黒潮は、室戸岬沖では引き続き「離岸」で推移する見込み。潮岬沖では「著しく離岸」から「離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区は「やや高め」の10～11℃台、日和佐地区は「平年並み」の14～15℃台で推移する見込み。

## 漁況

2019年1月14日～2019年1月20日（旧暦12月24日～12月30日）

### 1. 紀伊水道(標本漁協数:2)

釣りでは、マアジが増えて特大主体に0.3ト水揚げされた。

延縄では、タチウオが大きく増えて5.1ト、ブリがめじろ級主体に0.6ト、えそ類が0.3ト水揚げされた。

建網では、カワハギが大主体に0.3ト水揚げされた。

小型定置網では、マダイが0.5ト、マアジが0.3ト、ヒラメが0.2ト水揚げされた。

底びき網では、コウイカが大きく増えて大主体に1.2ト、えそ類が0.6ト、クマエビが0.5ト、スルメイカが0.3ト水揚げされた。

### 2. 海部沿岸(標本漁協数:4)

釣りでは、タチウオが増えて2.7ト、ゴマサバが大主体に0.4ト水揚げされた。

延縄では、キダイが大主体に0.5ト水揚げされた。

建網では、メジナが0.2ト水揚げされた。

小型定置網では、カタクチイワシが大きく増えて3.4ト、メジナが大きく増えて1.6ト、マアジが小小主体に0.3ト水揚げされた。

大型定置網では、マアジが小小主体に0.2ト、ブリがめじろ級主体に0.2ト水揚げされた。

漁獲量集計表(漁獲が0.2ト以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	釣り	24	マアジ	331	14	特大主体	↗
		延縄	70	タチウオ	5,146	74	
	25		ブリ	645	26	めじろ主体	↗
	5		えそ類	285	57		↗
	建網	21	カワハギ	256	12	大主体	↗
	小型定置網	23	マダイ	463	20		→
		21	マアジ	338	16		↘
		22	ヒラメ	218	10		→
	底びき網	47	コウイカ	1,178	25	大主体	↗↗
		32	えそ類	577	18		↗
		43	クマエビ	548	13		↗↗
		40	スルメイカ	315	8	小主体	↗↗
		31	いとより類	257	8		↗↗
海部沿岸	釣り	28	タチウオ	2,680	96		↗
		8	ゴマサバ	411	51	大主体	↗↗
	延縄	19	キダイ	473	25	大主体	→
		建網	38	メジナ	228	6	
	小型定置網	24	カタクチイワシ	3,404	142	小主体	↗↗
		27	メジナ	1,587	59		↗↗
		22	マアジ	260	12	小小主体	↗
	大型定置網	8	マアジ	213	27	小小主体	↗↗
ブリ			207	26	めじろ主体	↗↗	

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘